

在日朝鮮人資料叢書

在日朝鮮人運動史研究会監修

既刊1〜8 ★は続刊

在日朝鮮人史資料集

■在日朝鮮人運動史研究編
『在日朝鮮人史研究』収録の附属資料を再編集し、通覧できるようにした。他の史料集ではみることのできない在日朝鮮人・韓国人に関する資料を多数収録。
▲全2巻／増本体24,000円
ISBN978-4-8974-134-5

在日本朝鮮人商工便覧

■在日本朝鮮人商工連合会編 樋口雄一解説
戦後初めての本格的な在日朝鮮人の商工業実態に関する全国的調査資料（一九五七年版）。なお、同連合会編『調査月報』の附属資料を付す。
▲全1巻／本体9,000円
ISBN978-4-8974-135-2

戦後在日朝鮮人人口調査資料集

■長澤秀編・解説
在日朝鮮人社会の構造を理解する上で不可欠な基本資料。戦後の朝鮮人集住地域に関する詳細なデータを収録。統計局の報告書としては未刊行の資料。
▲全2巻／増本体39,000円
ISBN978-4-8974-138-3

在日朝鮮人教育関係資料

■佐野通夫編・解説
戦後（一九四五〜一九八〇）の在日朝鮮人教育の歴史・背景と問題点を通覧でき、日本人教師の在日朝鮮人教育に対する取り組みや課題、そして当該期の日本政府の在日朝鮮人教育に対する政策や認識等を複合的に捉えることができる資料。
▲全3巻／増本体79,000円
ISBN978-4-8974-142-0

朝鮮人強制動員関係資料

■山田昭次編・解説
戦時下（一九三七〜一九四五）の強制動員朝鮮人献夫の実態を、裁判資料、戦時労働員聞き書き資料、常磐炭礦朝鮮人関係記事等、労務時報・『日本産業新聞』所収朝鮮人関係記事等の新資料を中心に明らかにした。
▲全2巻／増本体24,000円
ISBN978-4-8974-145-1

在日朝鮮人留学生資料

■粟裕美編・解説
一九二〇年代を中心とする朝鮮人留学生の動向を通覧する初めての資料。朝鮮総督府や官憲の報告書、個人の書簡、日本と朝鮮の新聞記事、雑誌記事等種々の資料を収録。朝鮮近現代史の教育、思想、運動、政治、経済などの研究分野にも必備の資料。
▲全3巻／増本体54,000円
ISBN978-4-8974-150-5

在日朝鮮人資料叢書9

宋恵媛（ソ・ヘウォン）編・解説
（在日朝鮮人文学研究会）

在日朝鮮女性作品集

一九四五〜八四

本資料の特色

- ▼戦後の在日朝鮮人女性の作品（日本語及び朝鮮語）を集成した初めての作品集である。
- ▼一般には流通していない入手困難な作品が多く含まれており、現時点ではまとまった形で見られる唯一の在日朝鮮女性関連資料集である。
- ▼数多くの作品の中から二百編を選び出し、植民地以後の在日朝鮮女性の生活と思想が浮かび上がるよう、一〇〇のテーマに分けて構成した。
- ▼子どもから老人まで、幅広い年代の在日朝鮮女性のライティングを網羅した。
- ▼朝鮮語作品には対訳を付し、広く理解・活用できるようにした。
- ▼参考として、巻末に「在日朝鮮女性関連年表（一九四五年〜一九八〇年）」を付した。

■体裁 全2巻・A5版・上製クロス装・ケース入り
■定価 本体32,000円＋税 ISBN978-4-8974-162-8
■刊行 平成25年12月刊

在日朝鮮人警察関係資料

■福井編・解説
島取県内を中心とした、朝鮮人関係の各種指示・連絡事項及び在日朝鮮人の身元照会・調査資料を収録。治安当局の本陣から捉え直すことで、当時の諸政策の実態に迫る。
▲全3巻／増本体48,000円
ISBN978-4-8974-154-3

在日朝鮮人生活保護資料

■全数数編・解説
一九五〇年代を中心に、戦後日本社会における在日朝鮮人の生活困窮者層の動向ととりわけ生活保護受給者の動向）を広汎に記載した初めての資料集。生活保護問題を考える歴史的原点資料。
▲全2巻／増本体39,000円
ISBN978-4-8974-154-3

在日朝鮮女性作品集

■宋恵媛編・解説
一九四五年から一九七〇年頃までの（二世女性の日本語作品のみ一九八四年までの）間に、日本語あるいは朝鮮語で書いたエッセイ・日記・手紙・作文・小説等を集成した初めての作品集。
▲全5巻／増本体69,000円
ISBN978-4-8974-162-8

関東大震災朝鮮人虐殺裁判資料 ★

戦前期在日朝鮮人特集記事集 外村大編 ★

以下続刊！

▼戦後の日本朝鮮史学界の歩みを克明に記録した貴重資料！

復刻 朝鮮史研究会会報

【創刊号（一九五九年）〜一〇〇号（一九九〇年）】

◆本書の特色と内容

- ◆戦後の「朝鮮史研究」及び「朝鮮史研究会」の歩みを克明に記録した貴重な史料であり、戦後日本の朝鮮史研究の歴史を知る上で必須の文献である。また、これから「朝鮮史」を学ぶ方々、特に若手研究者には最高のテキストといえる。
- ◆「朝鮮史研究会論文集」に劣らない意欲的な論考・試論を多数収録している。主な記事としては、「学歴動向」「問題提起」「研究会」「研究報告」「ノート」「論文紹介」「史料紹介」「文獻目録」「研究の手引き」「翻訳」「年表」「書評」記事は充実している。
- ◆本書は、日本朝鮮史学界の「回顧と展望」であり、また戦後日本の「朝鮮史研究」の「年表」である。

【刊行概要】

全3巻・A5判・上製クロス装・ケース入り
定価 増本体42,000円＋税 ISBN978-4-8974-271-9 C3330

復刻 朝鮮史研究会会報 別巻

朝鮮史研究会会報 総目録・索引
【創刊号〜一〇〇号】

付録 朝鮮史研究会論文集 総目録・索引
【創刊号〜第46号】

◆体裁 A5判・並製
◆定価 本体3,000円＋税



好評既刊図書のご案内

戦時下

推進 趙 豊達（中央大学）
水野園樹（都立大学）
全四巻

朝鮮民衆の生活

編者の言葉

植民地支配とはなにか

樋口雄一（中央大学）

朝鮮に対する植民地支配はどのような結果を朝鮮人にもたらしたのでしょうか。これに答えるためには朝鮮人口の八割を占めていた農民、特にその八割を占めていた自小作、小作、農業労働者の生活状態がどのようなものであったか、という問いに答えるのが正解といえるのではないだろうか。

本史料集はこの問いに答えるべく農民の生活状況（食と栄養・健康・労働分布・自然災害・行動・抵抗）についての史料を中心に構成した。それも客観性を持たせるために朝鮮総督府支配下の朝鮮で刊行された文書史料を中心にした。朝鮮総督府が認めた事実であることも示える史料である。

食と健康に注目したものは、食の確保が人々の生活にとって最も重要な要素であり、生命の維持に欠くことの出来ない基本条件であることによる。人々は食の問題の解決のために働き、行動し、移動する。総督府支配下の朝鮮人口二五〇万人の内、労働人口を中心に五〇〇万人が日本・満洲・中国・南洋などに政策的な動員を受けて移動した。食は五分の一に達する。このため一九四一年からの供出強化、強制労働、インフレ、労働力不足は農民生活にそれまでにない困難をもたらした。同時に四年から三年連続の凶作が広範な農民に深刻な打撃を与えた。日本国内を含めた移動先では多くの犠牲を強いられ、戦後世界にも大きな影響を与えている。本史料の示す農民の生活は植民地支配がなんたるかであり、それを行った日本と人々に関わっていることも示している。また、それは朝鮮民衆がアジア民衆を受けた被害と同様の状況に陥れたいというのである。

緑蔭書房

〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-13-1
☎ 03 (3579) 5444
[消費税が別途加算されます]

在日朝鮮人運動史研究会監修

在日朝鮮人資料叢書9

宋恵媛編・解説

緑蔭書房

在日朝鮮女性

作品集

一九四五〜八四

全2巻

一九四五年から一九七〇年頃までの（二世女性の日本語作品のみ一九八四年までの）間に、日本語あるいは朝鮮語で書いたエッセイ・日記・手紙・作文・詩・小説を集成した初めての作品集。

